

千曲市復興計画策定スケジュール (R2.6.24作成)

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
市	事務局			アンケート	連報	成果品	会議資料・計画ひな形作成		委員資料送付	骨子案作成			素案作成			パブコメ案調整			パブリックコメント			最終案		公表	
	浸水状況調査						資料収集・基礎調査			排水区のモデル化(外水位条件の精査・水路網図の精査)			キャリブレーション(計画降雨によるシミュレーション・浸水発生メカニズムの検証)			シミュレーション(計画降雨によるシミュレーション・浸水発生メカニズムの検証)									
	庁内			説明 3/19部長会議					5/8復興本部会議		具体施策部会	回答取りまとめ													説明
策定委員会	委員会	委員決定	委員依頼	委員会通知								1回	部会		2回	素案審議・確定								3回	計画決定
	部会											顔合わせ 委員長決定 スケジュール説明 骨子の了承													
議会													説明												説明
行事関係														7/12市議選											10/25 市長選

千曲市復興計画策定委員会 委員名簿

(順不同、敬称略)

団体名・職名等	氏名	備考
千曲市区長会連合会（令和元年度）杭瀬下区長	赤沼 義敏	被災地区代表（被災時区長）
千曲市区長会連合会（令和2年度）会長	北原 盛義	協働
社会福祉法人 千曲市社会福祉協議会 地域支援課 主幹ボランティア・市民活動交流センター長	赤沼 一仁	福祉関係
千曲市戸倉地区民生児童委員協議会 副会長	竹内 葉子	
千曲市赤十字奉仕団 副委員長	松林 静子	
長野大学 環境ツーリズム学部 教授	松下 重雄	有識者（まちづくり）
信州大学工学部 水環境・土木工学科 准教授	豊田 政史	有識者（土木）
信州大学工学部 建築学科 助教	中谷 岳史	有識者（建築）
千曲市消防団 副団長	岡田 正	防災関係
千曲商工会議所	峯村 光子	商工関係
戸倉上山田商工会 理事・戸倉上山田商工会 女性部副部長	中村 ふさ子	
科野青年会議所 理事長	馬場 稔	
ながの農業協同組合 ちくま営農センター センター長	小林 篤	農業関係
	大裕 昭彦	公募委員
	高野 郁子	公募委員

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 副所長	浮田 博文	オブザーバー
千曲建設事務所 所長	松本 寛	オブザーバー

千曲市復興計画策定委員会 部会員名簿

住まいと暮らしの再建部会

(順不同、敬称略)

No.	構成	氏名	備考
1	策定委員	赤沼 義敏	令和元年度 杭瀬下区長
2	策定委員	赤沼 一仁	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会
3	策定委員	竹内 葉子	千曲市戸倉地区民生児童委員協議会
4	策定委員	中谷 岳史	信州大学工学部 建築学科 助教
5	策定委員	高野 郁子	公募委員
6	千曲市復興本部	島田 栄一	市民環境部長
7	千曲市復興本部	荒川 愛子	健康福祉部長
8	千曲市復興本部	中曾根 昌彦	次世代支援部長
9	千曲市復興本部	滝沢 裕一	教育部長
10	千曲市復興本部	小松 功和	廃棄物対策課長
11	千曲市復興本部	瀬在 量幸	市民課長
12	千曲市復興本部	宮澤 正人	生活安全課長
13	千曲市復興本部	北村 章	福祉課長
14	千曲市復興本部	海野 安隆	高齢福祉課長
15	千曲市復興本部	石原 尚子	健康推進課長
16	千曲市復興本部	小野 智弘	こども未来課長
17	千曲市復興本部	小河原 正浩	保育課長
18	千曲市復興本部	高野 昌一	教育総務課長
19	千曲市復興本部	松崎 高志	生涯学習課長
20	千曲市復興本部	宮坂 敏	文化課長
21	千曲市復興本部	田島 育男	歴史文化財センター長
22	千曲市復興本部	滝沢 資之	スポーツ振興課長
23	千曲市復興本部	斉藤 正樹	税務課長
24	千曲市復興本部	中村 健一	債権管理課長
25	千曲市復興本部	竹澤 勉	会計管理者

千曲市復興計画策定委員会 部会員名簿

安全・安心なまちづくり部会

(順不同、敬称略)

No.	構成	氏名	備考
1	策定委員	北原 盛義	千曲市区長会連合会
2	策定委員	松林 静子	千曲市赤十字奉仕団
3	策定委員	豊田 政史	信州大学工学部 水環境・土木工学科 准教授
4	策定委員	岡田 正	千曲市消防団
5	策定委員	大裕 昭彦	公募委員
6	千曲市復興本部	大内 保彦	総務部長
7	千曲市復興本部	竹内 司	企画政策部長
8	千曲市復興本部	竹内 康	建設部長
9	千曲市復興本部	横林 伸一	消防長
10	千曲市復興本部	北澤 武彦	総務課長
11	千曲市復興本部	宮尾 憲夫	秘書広報課長
12	千曲市復興本部	塚田 勝雄	危機管理防災課長
13	千曲市復興本部	洞田 英樹	総合政策課長
14	千曲市復興本部	岡田 敏彦	市民協働課長
15	千曲市復興本部	臼井 義広	情報政策課長
16	千曲市復興本部	湯本 永一	建設課長
17	千曲市復興本部	小岩 成夫	都市計画課長
18	千曲市復興本部	吉池 光裕	上下水道課長

千曲市復興計画策定委員会 部会員名簿

産業・経済復興部会

(順不同、敬称略)

No.	構成	氏名	備考
1	策定委員	松下 重雄	長野大学 環境ツーリズム学部 教授
2	策定委員	峯村 光子	千曲商工会議所
3	策定委員	中村 ふさ子	戸倉上山田商工会
4	策定委員	馬場 稔	科野青年会議所
5	策定委員	小林 篤	ながの農業協同組合 ちくま営農センター
6	千曲市復興本部	齊藤 清行	経済部長
7	千曲市復興本部	小林 千春	企業立地担当部長
8	千曲市復興本部	堀内 登	議会事務局長
9	千曲市復興本部	青木 猛治	産業振興課長
10	千曲市復興本部	荒井 茂夫	農林課長
11	千曲市復興本部	坂口 和志	観光交流課長
12	千曲市復興本部	稲玉 修治	地域開発推進室長

千曲市「復旧」及び「復興」計画策定方針 (令和元年台風第19号災害)

令和2年2月

千 曲 市

1 計画策定の趣旨

令和元年10月12日に長野県へ最接近した台風第19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。

千曲市においても、警戒レベル5相当の大雨特別警報が発令され、千曲川杭瀬下水位観測所における水位が氾濫危険水位を大きく上回る6.4mに達したことで、堤防からの越水、霞堤からの逆流、支流の内水氾濫などが発生しました。

これにより、市内各所で住宅や自動車が浸水被害を受けたほか、商工業や農業にも大きな被害を及ぼしました。

また、強風により住宅やビニールハウスなどが損壊し、さらに公共施設においては、文化会館や保育園、河川敷内の公園やスポーツ施設など、200件を超える施設が大きな被害を受けました。

既に被害を受けた方に対する様々な支援が動き出しており、また道路・河川等のインフラについても復旧事業が始まりつつありますが、今なお多くの市民の皆様が生活の基盤である住まいや生産基盤の再建に対して不安を抱えています。

このため、市民生活の再建を早急に進めるとともに、今回の台風被害を教訓として、より災害に強く、安全・安心で心穏やかに暮らせるまちを創造するため、復興への新たな取り組みを市民の皆様とともに全力で進めていく必要があります。

しかし、千曲市がかつて経験したことのない規模の災害からの**復旧・復興**を実現するためには、克服すべき様々な課題があります。

それら課題解決のため、市民一人ひとりと行政が今後の目指すべき姿を共有するとともに、これまで以上にあらゆる力の結集を図りながら、復興に向けた各種施策を総合的かつ計画的に推進するため、**復旧及び復興**に関する計画を策定します。

2 策定にあたっての基本的な考え方

(1) 復旧計画と復興計画の策定

生活資金や住まいに関すること、税金や利用料などの減免など、安定した生活、安心した日常を取り戻していただくための支援は既に始まっております。

しかし、市民が通常の生活を取り戻すことや、インフラ等の原状・改良復旧には、よりスピード感をもって対応することが重要であるため、**復旧計画**を先行して策定することとします。

また、生活基盤である地域産業・地域経済の再生や、今回の災害で明らかとなった新たな課題に対して解決の方向性を示し「災害に強い安全・安心なまちづくり」を進めるため、市民をはじめ幅広い意見を丁寧に聞きながら、中長期的な視点に立ち、財政状況にも配慮した**復興計画**を策定します。

(2) 市民参画

計画案の策定にあたっては、市民の皆様と行政が直接対話する機会を設けるとともに、災害に強いまちづくりを進めるためのアンケート調査を実施します。

また、**復興計画**は、パブリックコメントを行うことにより、計画案に対する幅広いご意見の把握に努めます。

(3) 議会との連携

市民の代表である議会の意見・要請を尊重し、議会と行政の緊密な連携を図ります。

(4) 有識者等外部人材との連携

過去に例を見ない被害をもたらした災害からの「復旧」・「復興」を成し遂げるため、高度な識見を有する専門家や、外部の支援組織と緊密に連携し、復旧及び復興計画を策定します。

また計画策定の前提として、専門家の協力のもと、災害が大きくなった原因の解明・検証を行います。

3 計画の概要

(1) 計画の名称及び主要内容

① 「千曲市復旧計画」

生活に密着した丁寧な支援により、日常生活の安定を一刻も早く取り戻します。

【ハード事業】

- 防災・減災・安全対策（応急含む）
- 公共施設等の復旧（道路・河川・公園・子育て施設・文化施設 他）

※改良復旧

【ソフト事業】

- 住まいと暮らしの再建
 - ・住まいへの支援（住宅の応急修理、被災家屋等の公費解体・撤去制度 他）
 - ・生活資金の支援（国・県の被災者生活再建支援制度 他）
 - ・税金や使用料、手数料等の減免 他
 - ・災害見舞金等のお支払い（災害見舞金・災害義援金）
 - ・災害廃棄物の適正処理
 - ・健康相談（心身のケア）
- 被災企業等への事業継続に向けた支援
 - ・事業継続計画（BCP）の策定づくりを支援
- 農業者への営農継続に向けた支援
- 商店・飲食・旅館業者等への風評被害を払拭し、早期回復に向けた支援
- 防災対策・教育の推進
 - ・各種マニュアル等の整備（避難所設置・運営、情報伝達・収受、施設ごとの避難計画 他）

② 「千曲市復興計画」

中長期的な視点で、防災と減災を実現し、災害に強いまちづくりを進めます。

【ハード事業】

- 信濃川水系緊急治水対策会議による周辺自治体と連携した治水対策
- 国や県に対し、抜本的な治水対策を要望
- 大規模災害に備えたインフラ整備 ※改良復旧

【ソフト事業】

- 市民と行政の協働による地域防災力の向上
 - ・自主防災組織の強化・育成

- ・防災意識、防災教育の普及と推進
 - ・地域防災計画、水防計画の見直し
 - ・避難所、物資輸送拠点、備蓄庫機能等の強化
 - ・情報伝達手段の整備
- 救護体制の見直し

【地域活力の創造】

- 産業の振興
- 移住・定住の促進
- シティプロモーションの推進 他

(2) 対象地域

市内全域

(3) 基本方針

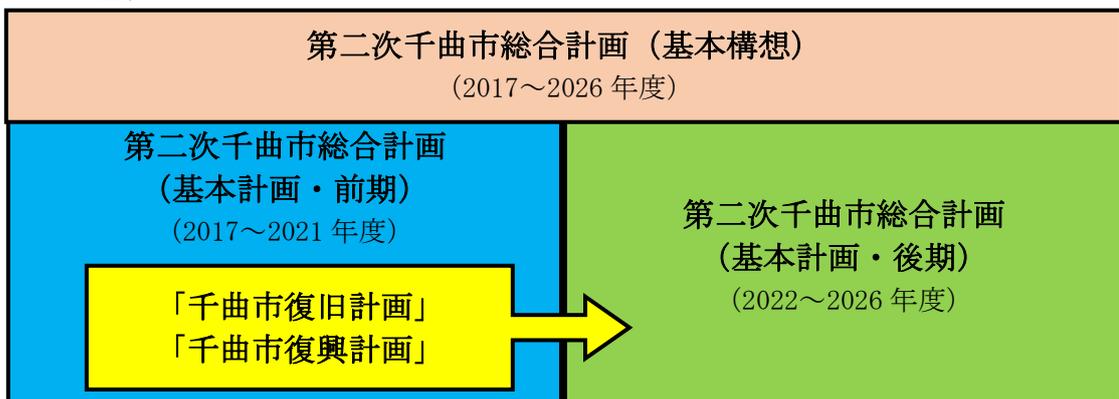
○計画の位置づけ

今回の台風災害からの**復旧・復興**には、先人達が築き上げてきた地域の回復、希望が持てる未来と地域の魅力を創造していくことが求められます。

これらは、第二次千曲市総合計画（2017年度～2026年度）の基本目標4に掲げる「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」の実現でもあり、本市において変わることのない目指すべきまちづくりの指針です。

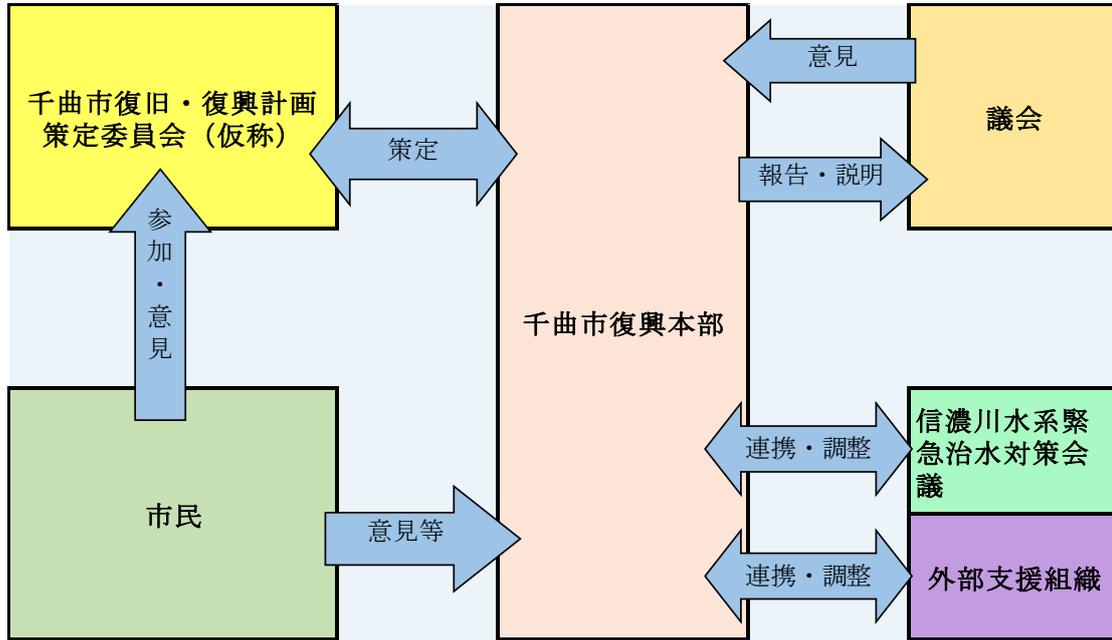
そこで、これらを実現していくため、この**復旧計画**及び**復興計画**は、総合計画の一部を成すものと位置づけ策定します。

(イメージ図)



4 策定体制

(計画策定の体制図)



5 策定のスケジュール

	2019 (令和元) 年度				2020 (令和2) 年度												
	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
議会		→															
市民参画	アンケート	→															
	パブリックコメント	→						→									
	復興計画案についての地区説明会							→									
復興本部	復旧計画	→															
	策定方針	→															
	復興計画																
策定委員会		→															

千曲市復興計画 体系図

基本方針		施策		主な取り組み	
1	住まいと暮らしの再建	1	市民生活の再建	1	生活の支援
				2	住まいに対する支援
		2	生活基盤の再建	1	インフラの復旧
				2	公共サービスの機能回復
2	安全・安心なまちづくり	1	災害に強い社会基盤の整備	1	治水対策
				2	避難所の見直し
				3	防災拠点の整備
		2	災害に対する体制の整備	1	防災意識の向上（自助）
				2	地域防災の見直し（共助）
				3	行政の災害対応力の強化（公助）
3	産業・経済復興	1	産業の再生	1	商工業への支援
				2	観光業への支援
				3	農林業への支援
		2	経済の振興	1	商工業の振興
				2	観光業の振興
				3	農林業の振興

千曲市復興計画策定委員会における各部会の検討事項

○千曲市復興計画の理念

「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち」

復興計画は将来的に千曲市総合計画の中へ取り入れて行くことから、総合計画の基本目標4をその理念とする。

○基本方針

理念達成のため3つの基本方針を立て、それに沿った施策を実施。

1. 住まいと暮らしの再建
2. 安全・安心なまちづくり
3. 産業・経済復興

○部会

基本方針ごとに部会を設置し、具体的な施策について検討。

(検討内容)

「個別具体的な課題」に対して「どのような方法で」・「いつまでに」解決するのかを検討する。

○具体的な施策の例

住まいと暮らしの再建部会

(市民生活の再建)

- ・生活資金に関する支援
- ・税金等の減免に関すること
- ・住宅の再建に関する支援
- ・心身のケアに関する支援

(生活基盤の再建)

- ・インフラの復旧
- ・公共サービスの機能回復

安全・安心なまちづくり部会

(災害に強い社会基盤の整備)

- ・治水対策（越水の原因究明を含む）
- ・避難所の見直し（場所の選定・設備の見直し）
- ・防災道の駅を含めた防災拠点の整備

(災害に対する体制の整備)

- ・住民の防災意識の向上
- ・地域防災のあり方検討
- ・市職員の災害時の対応検証と、対応力向上の施策検討

産業・経済復興部会

(産業の再生)

- ・災害を受けての各事業者への中長期的な支援策の検討
- ・事業を継続するための施策の検討

(経済の振興)

- ・災害により損害を受けた農林業、商工業、観光業の振興策の検討

千曲市復興計画

(令和元年東日本台風災害)

(骨子案)

令和2年 月

千曲市

千曲市復興計画（令和元年東日本台風災害）

〈目次〉

I. はじめに
II. 令和元年東日本台風災害の概要	
1 台風通過時の概要
2 市内の被災状況
3 災害対応の状況
III. 基本的な考え方	
1 計画の趣旨
2 計画の位置付け
3 基本理念
4 基本施策
IV. 基本施策の体系	
1 基本方針1 住まいと暮らしの再建
1-1 市民生活の再建	
1-1-1 生活の支援	
1-1-2 住まいに対する支援	
1-2 生活基盤の再建	
1-2-1 インフラの復旧	
1-2-2 公共サービスの機能回復	

- 2 基本方針2 安全・安心なまちづくり
- 2-1 災害に強い社会基盤の整備
 - 2-1-1 治水対策
 - 2-1-2 避難所の見直し
 - 2-1-3 防災拠点の整備
- 2-2 災害に対する体制の整備
 - 2-2-1 防災意識の向上（自助）
 - 2-2-2 地域防災の見直し（共助）
 - 2-2-3 行政の災害対応力の強化（公助）
- 3 基本方針3 産業・経済復興
- 3-1 産業基盤の再生
 - 3-1-1 商工業への支援
 - 3-1-2 観光業への支援
 - 3-1-3 農林業への支援
- 3-2 経済・経済の振興
 - 3-2-1 商工業の振興
 - 3-2-2 観光業の振興
 - 3-2-3 農林業の振興

V. 計画の推進

- 1 計画の推進体制
- 2 計画の進捗管理

VI. 資料編

Ⅲ. 基本的な考え方

1. 計画の趣旨

令和元年 10 月 12 日に長野県へ最接近した令和元年東日本台風は、当市にこれまでにない甚大な被害をもたらしました。

インフラ等の復旧は進みましたが、被害を受けた方の中にはこれまでのような安心した生活を送ることが難しい方もいます。

そうした状況の中、被害からの迅速な復旧と今回の経験を踏まえた防災力の向上、そして市民と行政が一体となった災害に強いまちづくりを目指し、すべての市民が再び安心して生活できることを目標として本復興計画を策定するものです。

2. 計画の位置付け

今回の台風災害からの復興には、先人達が築き上げてきた地域の回復、希望が持てる未来と地域の魅力を創造していくことが求められます。

これらは、第二次千曲市総合計画（2017 年度～2026 年度）の基本目標 4 に掲げる「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」の実現でもあり、本市において変わることのない目指すべきまちづくりの指針です。

そこで、これらを実現していくため、この復興計画は、総合計画の一部を成すものと位置づけ策定します。



3. 基本理念

災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり

千曲市では平成29年4月に第二次千曲市総合計画を策定し、6つの基本目標を掲げてまちづくりを進めてきました。

千曲市復興計画は、その総合計画の一部をなすものでありますが、今回の大規模災害を受けて、より防災・減災対策を重視する姿勢を示すため、総合計画の基本目標4である「災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまちづくり」をその基本理念として、中長期、継続的な復興を進めていきます。

4. 基本施策

本市の復興の基本施策を、「住まいと暮らしの再建」、「安全・安心なまちづくり」、「産業・経済復興」の3つの基本方針により位置付け、体系に沿って各施策に取り組んでいきます。

基本方針		施策		主な取り組み	
1	住まいと暮らしの再建	1	市民生活の再建	1	生活の支援
				2	住まいに対する支援
		2	生活基盤の再建	1	インフラの復旧
				2	公共サービスの機能回復
2	安全・安心なまちづくり	1	災害に強い社会基盤の整備	1	治水対策
				2	避難所の見直し
				3	防災拠点の整備
		2	災害に対する体制の整備	1	防災意識の向上（自助）
				2	地域防災の見直し（共助）
				3	行政の災害対応力の強化（公助）
3	産業・経済復興	1	産業の再生	1	商工業への支援
				2	観光業への支援
				3	農林業への支援
		2	経済の振興	1	商工業の振興
				2	観光業の振興
				3	農林業の振興

IV. 基本施策の体系

基本施策の体系に沿って各種事業を実施します。

なお、本文中の「アンケート」は令和2年2月に実施した「千曲市復興計画策定のための市民アンケート調査」からの抜粋です。

基本方針 1

住まいと暮らしの再建

【現状分析と今後の方針】

令和元年東日本台風によるり災証明の交付件数は 900 件を超えており、市民生活に甚大な被害をもたらしました。

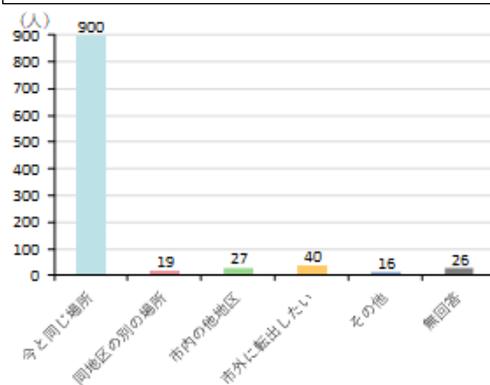
災害後に実施したアンケートで、定住意識について調査したところ、災害前からは大幅に減少したものの「今と同じ場所に住み続けたい」と回答した方が大半を占めており、住みなれた場所での生活再建を望んでいることがうかがえます。

また、生活再建で重視することについては、「経済的な支援（融資など）」、「保健・医療・福祉体制の確保」、「住宅の確保（住宅再建・公営住宅）」が上位を占めており、「保健・医療・福祉体制の確保」と関連性の高い「心身の健康の維持・増進」と「行政情報の伝達強化」が次いで回答数が多くなっています。

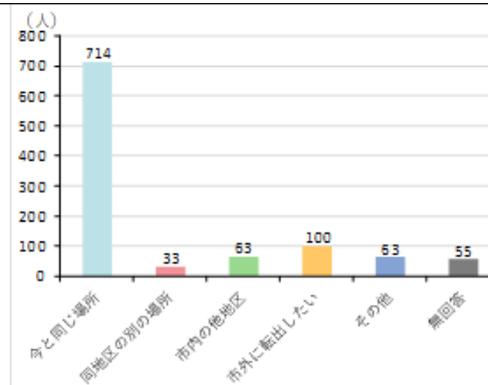
このような状況を踏まえ、住まいと暮らしの再建に関する施策を実施します。

アンケート結果

設問：あなたはこれからもお住まいの地区に住み続けたいと思いますか。（定住意識の変化）

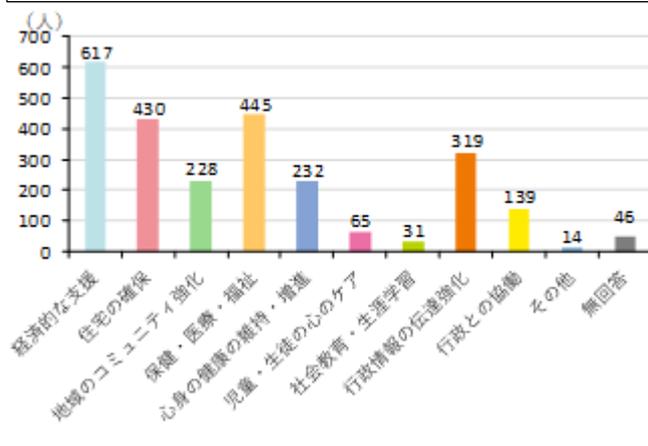


▲災害前の意識



▲災害後の意識

設問：暮らしの再建について重視することを教えてください。（3つまで回答）



1-1 市民生活の再建

1-1-1 生活の支援

(1) 生活資金に関する支援

県や市の制度による支援金、給付金の給付と、多くの方々から寄せられた災害義援金の配分を行い、被災者の生活再建を支援します。

- ・信州被災者生活再建支援金【福祉課】
- ・災害見舞金【福祉課】
- ・災害義援金【高齢福祉課】

(2) 税金等の減免による支援

税金や各種手数料、医療保険料等の減免や納付猶予の相談を実施し、経済的な負担の軽減を図ります。

今後さらに手続きの迅速化・簡便化を進めます。

- ・市税【税務課・債権管理課】
- ・国民健康保険の窓口負担、後期高齢者医療保険料【健康推進課】
- ・介護保険料、介護サービス利用料【高齢福祉課】
- ・国民年金保険料、一般旅券手数料【市民課】
- ・各種証明書交付等手数料【市民課・税務課】
- ・保育料等【保育課】
- ・県営水道料金、避難先市営水道料金、下水道使用料、市営水道の給水装置工事にかかる手数料【上下水道課】

(3) 住宅の再建に関する支援

